

がん社会 を診る

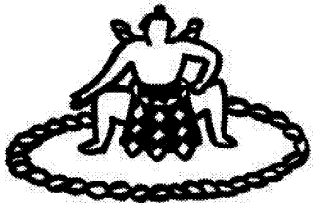
中川 恵一

優勝31回で、角界で初めて国民栄誉賞を受けた元横綱千代の富士の九重親方が7月31日、東京都内の病院で亡くなりました。享年61歳、死因は膵臓(すいぞう)がんでした。

昨年の5月場所後に東京・両国国技館であった還暦土俵入りではウルフと呼ばれた現役時代をほうふつとさせる引き締まった肉体を披露しましたが、6月には膵臓がんを切除する手術を受けました。

何度も繰り返しますが、がんはよほど進行しない限りは症状を出しにくい病気なのです。膵臓はピストルのような形をしています。膵臓に近い膵尾部にできた「膵尾部がん」を切除した時点ですでに肝臓などに転移があった可能性があります。

膵臓がんは早期発見が困難なうえに進行が早く「見つからない」「治らない」がんの代表で、「がんの王様」とも



イラスト・中村 久美

膵臓がん、際立つ難治性

恐れられています。

国立がん研究センターによる予測では、2016年に新たにがんにかかる患者数は年間約101万2000人(男性57万6100人、女性43万4100人)です。臓器別のトップ5は、大腸(14万7200人)、胃(13万3900人)、肺(13万3800人)、前立腺(9万2600人)、乳房(9万人)で、膵臓は4万人と7位にすぎません。

一方、がんで亡くなる人の数は、全体で約37万4000人(男性22万3000人、女性15万3700人)ですが、臓器別では、肺(7万7300人)、大腸(5万1600人)、胃(4万8500人)、膵臓(3万3700人)、肝臓(2万8100人)の順で膵臓は4位につけます。罹患(りかん)数と死亡数が最も接近しているのが膵臓がんで、数字の上でも難治性であることが分かります。

新しい抗がん剤の開発などによって、生存期間の延長は認められています。世界保健機関(WHO)による推計でも、膵臓がんによる死亡率は約98%でほとんど減少していません。がん検診による早期発見の有効性も確立していませんから、まずは予防が大切です。

喫煙は1.7倍、糖尿病では2倍近くリスクを高めますから、禁煙と体重の維持が何より大事です。また、遺伝性のがんも5〜10%ありますから、近縁者が罹患した方は要注意です。

(東京大学病院准教授)